JACET研究会 研究成果物 （2014年3月～2022年3月 更新日:2022年3月28日）

No.	研究会名	出版年	出版月	出版日	題名	出版社	分類	媒体	分野A	分野B	URL	概要	目次	備考	連絡先氏名	連絡先所属	連絡先電子メール（[a]を@に変換）
1	多文化共生と英語教育研究会	2021	12	25	Diversity & Inclusionをめぐる大学英語教育の課題と実践	大学英語教育学会中部支部	記要	紙媒体	人文	Sociolinguistics		大学生317人を対象に、Diversity & InclusionやSDGsなどの現代的課題についての意識とA時代の英語学習についての意識を問う調査を実施し、これらにおける傾向と英語学習への姿勢との関連性の有無を分析した結果、Diversity & Inclusionへの関心と学生の英語学習への積極性との間に統計上有意な関係性が見られることが判明した。また、意識調査の結果を踏まえつつ、Diversity & Inclusionなどの現代的課題を学生が自分ごと化するための方策の検討を行い、批判的思考力や対応力を養うための英語授業実践法について分析と提言を行い、AIなの進展が加速するこれからの大学英語教育において、大学が大学でしかできない付加価値のある「包括的英語教	1. Society5.0時代の大学英語教育の課題 2. Diversity &InclusionとSGDsを自分ごとにする英語教育 3. 多文化共生社会への関心度を高める英語教育 4. ジェンダーステレオタイプへの気づきを促す英語教育 5. 多言語社会と英語の関係を考える英語教育 6. AI時代の大学英語教育 7. 結論		小宮富子	岡崎女子短期大学	komiya[a]okazaki-u.ac.jp
2	JACETリスニング研究会	2021	4	1	Power-Up College English <Intro>		書籍	紙媒体	人文	全般					神野雅代	四天王寺大学	kanno[a]shitennoji.ac.jp
3	ESP Hokkaido	2021	3	29	ESP Hokkaido Journal Volume 4		報告書	ウェブ	全般	Learning/ICT ESP SLA Speaking	http://www.esp-hokkaido.org/journal/index.htm	研究会での取り組んでいる研究の及び遠隔授業の実践報告。	研究論文 ・The Effect of Practical Interaction Task Training on Learners' Motivation and Attitudes-Usefulness of 3x3 table English trainingNozomi ISHIKAWA,Masaki YAMADA,Toshiyuki SAKABE,Hisashi NAITO ・実践的インタラクションタスクトレーニングがスピーキング能力へ与える影響-発話量の変化から見る9マス英会話トレーニングの有用性-(Effects of Practical Interaction Tasks on Speaking Ability?Examining Changes inFluency and Demonstrating the Usefulness of 3x3 table English training?)山田政樹、石川希美、坂部俊行、内藤永Masaki YAMADA,Nozomi ISHIKAWA,Toshiyuki SAKABE,Hisashi NAITOPedagogical 実践報告 Zoomを利用した遠隔『9マス英会話』の実践(A practice of "3 x 3 table English training"in a remote class on Zoom) 伊藤永Hisashi NAITO		坂部俊行	北海道科学大学	t-sakabe[a]hus.ac.jp
4	ESP（九州・沖縄）研究会	2021	3	10	ESPの研究と実践（13号）		記要	紙媒体	人文	ESP		九州・沖縄支部ESP研究会の会員による研究報告集（査読制）です。ESPに関連した研究や授業実践に関する論考を掲載しています(ISSN: 1347-7625)。	巻頭 2020年度活動報告 ii 会員の論文 シラバスの教育目標と学生の実際の英語力との格差縮小対策 ―事例研究― 1 山内 ひさ子 航空英語リスニング試験に関する研究（1）―テスト項目の拡張と項目分析― 15 縄田 義直 コロナ禍の大学英語教育におけるESP ―大学英語教員による共同報告― 30 荒木 瑞夫, 林 千晶, ヘンスリー ジョール, 川北 直子, 光永 武志, 中野 秀子, 縄田 義直, 鈴木 千鶴子, 徳江 武, 山本 佳代, 山内 ひさ子, 安浪 誠祐 投稿規程 46 会員名簿 49 研究会連絡先等 54		安浪 誠祐	熊本大学	yasunami[a]kumamoto-u.ac.jp
5	JACET SIG言語教師認知研究会	2020	3	30	JACET 言語教師認知研究会 研究集録 2019	JACET SIG言語教師認知研究会	記要	電子媒体	人文	全般 Teacher Education	https://jacetltc.jimdofree.com/sig-journal/	Language Teacher Cognition Research Bulletin, a refereed journal of the JACET SIG on Language Teacher Cognition, publishes theoretical and empirical research articles and research reports that have been previously presented at our SIG research meetings/conferences (within two years). Research areas of particular interest include (but are not limited to) the following: - language teacher cognition - language teacher emotions - teacher research - reflective practices - teacher development - teacher education - Overviews of research and practice in related fields	Foreword------ii Toshinobu Nagamine SIG Activity Records------iii What Does an Overseas Teacher Education Program Offer to EFL Professionals?: Exploring the Program from Insiders' Perspectives------1 Yuka Kurihara (Tokai University, Japan) The Use of Frameworks with Video to Foster Reflective Practice in Pre-service Teacher Training in an EFL Environment------16 Robert MacIntyre (Sophia University, Japan) Information for Contributors & Editorial Policy------33		長嶺寿宣	龍谷大学	nagamine.73[a]gmail.com
6	教育問題研究会	2020	3	8	『言語教師のポートフォリオ(J-POSTL)』教職課程における活用方法		その他 J-POSTL活用案内	紙媒体 ウェブ	人文	Teacher Education	http://www.waseda.jp/assoc-jacetenedu/J-POSTL_KyoshokuKatsuyo.pdf	J-POSTL の基本的な方針は、「言語教育の目標が生徒の人格形成であり、真の言語能力育成のためには生徒・教師ともに継続的な省察が欠かせないこと を全体で確認すること」です。その方針に沿って、メンバーが実践している教職課程における指導方法とそれに伴う効果的な省察方法のアイデアを検 討してきました。実際の取り組みとして、J-POSTL を教職課程で活用して いる大学の教員を中心とした研究会において、グループディスカッションや リフレクティブエッセイなどの教職課程の授業場面や指導法をとりあげなが ら論議・研究を進めてきました。本冊子はこの教職課程活用プロジェクトの成果をまとめる形で構成されています。	解説編 教職課程における J-POSTL の基本的な活用方法と課題 ..... 6 清田洋一 J-POSTL の6段階の活用法 .....13 浅岡千利世 EPOSTL の活用事例から J-POSTL の導入への示唆 .....18 高木亜希子 実践編 教職課程における履修段階に応じた J-POSTL の活用..... 26 吉住香織 「英語科教育法 B」における J-POSTL の活用 ..... 42 大崎さつき 教育実習における J-POSTL の活用 .....51 大崎さつき 「英語科教育法特論」における J-POSTL の活用 ..... 59 高木亜希子 教育実習における J-POSTL活用の取り組み ..... 66 浅岡千利世 英語科教科法の授業における J-POSTL の統合的な活用 ―通信課程における実践 ..... 73 清田洋一 付録『言語教師のポートフォリオ』導入へのスモモ案ジ 8		清田 洋一	明星大学	kiyota[a]ge.meisei-u.ac.jp
7	教育問題研究会	2020	3	8	『小学校英語指導者のポートフォリオ』J-POSTL エレメンタリー J-POSTL for for Elementary-school Teacher Education（暫定版）		その他 授業力ポートフォリオ	紙媒体 ウェブ	人文	Teacher Education	http://www.waseda.jp/assoc-jacetenedu/ZanteiJPOSTLElementary.pdf	『小学校英語指導者のポートフォリオ』J-POSTL エレメンタリー は、小学校で英語教育を担当する先生方や小学校教員養成課程で学ぶ履修生が、自らの専門性を高め、成長するために活用するリフレクション・ツールである。	編集趣旨 『小学校英語指導者のポートフォリオ』について 本書の使い方 自分自身について 過去の英語学習経験 /小学校英語指導者としての不安や抱負 小学校英語指導者の資質・能力について 8 コラム:リフレクション(省察)の意義について 自己評価記述文 I 教育環境 A. 教育課程, B. 目標とニーズ, C.言語教師の役割, D.組織の設備と制約 II 教授法 A. 話す活動 A-1, やり取り, A-2, 発表, B. 書く活動, C. 聞く活動 D. 読む活動, E.文法, F.語彙, G.文化 III 教授資料の入手先 IV 授業計画 A.学習目標の設定, B.授業内容, C.授業展開 V 授業実践 A. 授業案の使用, B.内容, C. 児童との交流, D.授業運営, E.教室での言語 VI 自立学習 A. 児童の自律, B. 宿題, C. プロジェクト学習, D. ポートフォリオ学習 E. ウェブ上での学習環境, F. 特別活動 VII 評価 A.測定具の考案, B.評価 , C. 自己評価と相互評価, D.言語運用, E.国際理解, E.誤答分析 用語解説 英語学習・授業実践・研修等の記録 1 英語学習記録 2 英語の授業実践記録 3 研修・研究授業・学会発表あるいは国際交流などの実践記録 執筆者一覧		清田 洋一	明星大学	kiyota[a]ge.meisei-u.ac.jp
8	教育問題研究会	2019	8	10	Language Teacher Education 言語教師教育 Vol.6 No.2 August 2019（英語版）		記要	紙媒体 ウェブ	人文	Teacher Education	http://www.waseda.jp/assoc-jacetenedu/VOL6NO2.pdf	教育問題研究会の研究記要の英語版である。内容は機械翻訳、EPOSTL、J-POSTL、小学校英語教育、イタリアのCLILなどである。	【Invited Paper】 The Implications of Machine Translation for English Education in Japan..... Tom Gally 【Research Note】 A Comprehensive Review of European Portfolio for Student Teachers of Languages (EPOSTL) and Japanese Portfolio for Student Teachers of Languages (J-POSTL): Implications for Future Practice and Research in Japan ..... Akiko Takagi 【Research Note】 Japanese Portfolio for Elementary English Educators: Specifying Self-assessment Descriptors for Student Teachers..... Takane Yamaguchi, Eri Osada, Ken Hisamura, Gaby Benthien 【Research Note】 English Classroom Activities that Enhance Students' Intercultural Competence: Based on the New English Materials Developed to Align with the Revised Course of Study ..... Natsue Nakayama, Rika Wakamatsu, Juniya Narita, Kagari Tsuchiya 【Overseas school-visit report】 A Report on CLIL Class Observation in Turin and Nearby Schools..... Yoichi Kiyota		清田 洋一	明星大学	kiyota[a]ge.meisei-u.ac.jp
9	教育問題研究会	2020	3	8	Language Teacher Education 言語教師教育 Vol.7 No.1 March 2020（日本語版）		記要	紙媒体 ウェブ	人文	Teacher Education	http://www.waseda.jp/assoc-jacetenedu/VOL7NO1.pdf	教育問題研究会の研究記要である。 概要は機械翻訳、J-POSTLエレメンタリー、小学校英語教育などである。	目次 編集者, 査読者, 執筆者一覧 招待論文 機械翻訳が日本の英語教育に与える影響 .....トム・ガリー(Tom Gally) 大崎さつき・久村 研 訳 研究ノート 英語指導者の資質・能力に対する小学校現職教員の意識: 小学校現職教員対象「J-POSTL エレメンタリー」全国調査の結果から ..... 中山夏恵, 山口高領, 久村 研 学生調査から見えた小学校英語教職課程履修生に求められる資質・能力 ..... 山口高領 , 米田佐紀子 グローバル化時代における日本の大学の機械翻訳を使った複言語教育の研究..... 酒井志延 書評 『リフレクティブ・プラクティス入門』ひつじ書房 ..... 葉原文子 『英語教師のための実践研究ガイドブック』大修館書店 ..... 太田 洋 『ワクワクする小学校英語授業の作り方』大修館書店..... 満尾貞行 『映画で学ぶ英語の世界』くろしお出版 ..... 村上裕美 記録 2019 年度教育問題研究会会員・協力者の学会等発表記録 言語教育エキスポ 2020 プログラム Language Teacher Education 言語教師教育 原稿投稿要領		清田 洋一	明星大学	kiyota[a]ge.meisei-u.ac.jp
10	JACET関西支部教材開発研究会	2020	2	23	FLExICT Expo 2019 発表予稿集	自費出版	その他	電子媒体	全般	Learning/ICT LearnerDevelopment Teacher Education	https://flexict-expo-2019.jimdofree.com/	JACET関西支部教材開発研究会が共催として参加した。主催は神谷健一科研（研究課題/領域番号 17K02956「小中高大連携を見据えた外国語教育とICTの接点を探る研究ならびにテーアーカイブの開発」によるイベントであり、当日は34件（実者プレゼンを含む）の発表があった。	https://www.dropbox.com/s/y49fos4yxqpntx9/FLExICT_Expo_2019_Program.pdf?dl=1 に記載	JACET関西支部教材開発研究会による発表スライドは https://www.dropbox.com/s/84mah5k2c29wh1m/Expo%202020223revised4.ppt?dl=1 にあります。	神谷健一	大阪工業大学	kmyken1[a]gmail.com
11	JACETリスニング研究会	2019	4	1	Power-Up College English<Basic>	南雲堂	書籍	紙媒体	全般 人文						神野雅代	四天王寺大学	kanno[a]shitennoji.ac.jp
12	ライティング指導研究会	2019	3	31	JACET関西支部ライティング指導研究会紀要13号		記要	紙媒体	人文	Writing					久留友紀子	愛知医科大学	yn146tc[a]gmail.com
13	JACET SIG on Academic & Teaching Portfolio	2019	3	13	Academic & Teaching Portfolio		分類その他 = Web	ウェブ	人文	その他 = Faculty Development	http://web.sec.ehime-u.ac.jp/nakayama/public_html/jacet-sig-aptp/				中山晃	愛媛大学	nakayama[a]ehime-u.ac.jp
14	JACET ELF (English as a Lingua Franca) 研究会	2019	3	31	JACET ELF SIG Journal		その他Academic Journal	電子媒体 ウェブ	社会科学 人文	Corpus Linguistics LanguagePolicy Sociolinguistics Teacher Education Others	http://jacetelf.wordpress.com/			1. JACET SIG on English as a Lingua Francaウェブサイト(http://jacetelf.wordpress.com/) 2016年9月の開設以降、研究会活動に関して随意更新 2. JACET ELF SIG Journal vol. 3（電子版） 研究会主催イベントに基づいた学術論文集 2019年3月末、上記ウェブサイトを通じて発刊予定	村田久美子	早稲田大学	jacetelfsig[a]gmail.com

15	JACET九州・沖縄支部 ESP研究会	2018	2	28	『ESPの研究と実践』12号	JACET九州・沖縄支部ESP研究会	紀要	紙媒体	英語教育	ESP	－	JACET九州・沖縄支部ESP研究会の研究紀要『ESPの研究と実践』の第12号。	巻頭言 2017年度活動報告　ii 会員の論文 Teaching English to Japanese College Students of Nursing: Essentials in the Course Contents from EN Textbook Analyses（Akihiko Higuchi）　1 ESP教材開発の方向性―2020年からの新学習指導要領をうけて―（山内 ひさ子）　8 留学生との交流学習プログラムによる日本人大学生の動機づけ向上に関する効果（山本 佳代・荒木 瑞夫）　21 グローバル人材育成の試みについて―熊本高等専門学校の事例報告―（光永　武志）　33 農学部生用語彙リスト作成に向けたコーパスデザイン（山本　佳代）　41 信念、価値観、異文化への気づき―医学教育に英語教育が果たす新たな役割―（横山　彰三）　48 大学院EAPクラスの教授法の検討―グローバル化するキャンパスの事例から―（荒木　瑞夫）　62 会員名簿　75 研究会連絡先　77	2016年9月の開設以降、研究会活動に関して随意更新	荒木　瑞夫	宮崎大学	tarak[a]cc.miyazaki-u.ac.jp
16	Oral Presentation and Performance(OPP)	2018	3	20	The 9th Oral Presentation & Performance (OPP2017) Event Report	－	報告書	紙媒体	人文 一般	Speaking	－	Oral Presentation & Performance (OPP) 研究会は大学生の口頭での発表技能やプレゼンテーション技能を高めること、研究会メンバー同志で指導方法等を他のメンバーと共有しあうことで教員間の連携を高めることを目的に活動しています。研究会の中心的な研究活動は、年に一度開催するOPPイベントで、2017年度は第9回OPPイベントを12月17日（日）、今回初めて県立広島大学広島キャンパス大講義室で開催しました。参加者総数は、学生プレゼンター61名、指導教員総数10名（6大学）でした。上記報告書ではこの活動報告と併せ、参加したOPP研究会メンバー全員が、指導の方法、内容、工夫した点などを記とめて報告しています。	－		三熊　祥文	広島工業大学	y.mikuma.ir[a]cc.it-hiroshima.ac.jp
17	EAP研究会（EAP調査研究特別委員会 ）	2017	12	11	大学での英語教育改革を考える	大修館	雑誌	紙媒体	社会科学	Curriculum ESP	－	『英語教育』第66巻、11号. pp. 34-40.	－	2. JACET ELF SIG Journal vol. 3（電子版）	飯島　優雅	獨協大学	yijima[a]dokkyo.ac.jp
18	EAP研究会（EAP調査研究特別委員会 ）	2017	11	12	ESP Education in Japanese Universities: Past, Present and Future Prospects.	English Teachers' Association-Republic of China	Selected Papers	電子媒体	社会科学	Curriculum ESP	－	－	－	研究会主催イベントに基づいた学術論文集	寺内　一	高千穂大学	hajime[a]takachiho.ac.jp
19	English as a Lingua Franca研究会	2018	3	31	JACET ELF SIG Journal (Volume 2)	－	Journal	電子媒体	社会科学 人文	Curriculum LanguagePolicy Sociolinguistics Teacher Education	https://jacetelf.wordpress.com/jacet-elf-sig-journal/	－	－	2019年3月末、上記ウェブサイトを通じて発刊予定	村田　久美子	早稲田大学	jacetelfsig[a]gmail.com
20	教育問題研究会	2018	3	4	Language Teacher Education 言語教師教育	JACET教育問題研究会	記要	紙媒体 ウェブ	人文	Teacher Education	http://www.waseda.jp/assoc-jacetenedu/VOL5NO1.pdf	・発刊の目的:本研究会が開発した「言語教師のポートフォリオ」(J-POSTL)の普及と、言語教師教育およびその関連分野の研究に貢献することを目的とする。・ジャーナルの発行:毎年年2回発行する。No.1(2日本語版(3月発行)、No.2 (2英語版(8月発行)とする。・投稿条件:原稿投稿者は本研究会会員とJACET会員を原則とするが、それ 以外でもJ-POSTLの使用者、および、言語教師教育の研究者・実践者の投 稿を認める。・投稿方法:原則として、まずNo.1(日本語版)に投稿し、査読を受けて採用され た場合、英訳してNo.2 (English edition)にも投稿していただきます。・応募申込み:毎年1月末までに、氏名、所属、連絡先(メールアドレス)、原 稿の概要をEメールにて下記メール・アドレスにお送りください。・原稿締切:No.1(日本語版)(3月発行予定)毎年1月10日必着/No.2 (English edition)(7月発行予定)同年の5月31日必着。いずれも下記アドレ スへメール添付で送付。 大崎さつき soosaki[a]soka.ac.jp	特別寄稿: CLIL 教師教育:課題と方向性（Carmel Mary Coonan/ 長田恵理 ） 世界に広がる EPOSTL-ルーマニアの場合-(Anca-Mariana Pegulescu/ 中山夏恵、醍醐路子　訳 ） J-POSTL・教師教育関連: 【論文】教職課程履修生の省察と成長に関する考察: 模擬授業指導への「言語教師のポートフォリオ」の活用(吉住香織) 若手英語教師による学びと成長の軌跡―授業研究協議会後のインタビュー分析に基づく教師の認知(7木亜希子) 【実践報告】定期的なスピーキングタスクの実施と J-POSTL を活用したその評価(長　知笑) 小学校英語教育関連 【研究ノート】個人の文化資産としての英語学習 ―学習ポートフォリオの資料集としての Lap Book の可能性(清田洋一) 小学校外国語教育の定義―小学校教師の授業創造力からの視点(成田潤也) 【実践報告】 小学校英語教育における Lap Book の指導と評価の試み (阿部志乃) 【授業実践記録】 教科横断型授業を利用したローマ字指導（北野ゆき、松延亜紀、酒井志延 ） 【海外視察報告】 イタリアの CLIL 授業観察から考察する日本の外国語教育への応用(安達理恵、二五義博、栗原文子、中山夏恵、藤原三桂子) 【資料】 小学校英語教育のための文字指導の研究会報告（竹田里香、安達理恵、酒井志延） 書　評: 『行動志向の英語科教育の基礎と充実-教師は成長する-』 三修社（泉　恵美子） 『英語学習ポートフォリオの理論と実践』くろしお出版（安達理恵） 『社会人のための　英語の世界　ハンドブック』 大修館書店（ 醍醐路子 ） 資料:次期学習指導要領とJ-POSTL J-POSTL【小学校英語指導者編】自己評価記述文草案（早稲田大学神保尚武科研・JACET 教育問題研究会共同開発） 　次期小学校学習指導要領と J-POSTL【小学校英語指導者編】自己評価記述文草案との対応（久村　研） 次期中学校学習指導要領と J-POSTL 自己評価記述文との対応（中山夏恵、久村　研） 記　録: 2017 年度教育問題研究会会員・協力者の学会等発表記録/言語教育エキスポ2018プログラム/ Language Teacher Education 言語教師教育 原稿投稿要領	－	清田　洋一	明星大学	kiyota[a]ge.meisei-u.ac.jp
21	教育問題研究会	2017	11	30	行動志向の英語科教育の基礎と実践-教師は成長する-	株式会社　三修社	書籍	紙媒体	社会科学	Teacher Education		本書は、1998年刊行の『英語科教育の基礎と実践』の3回目の全面改訂版である。判型、体裁、章立て、文体を一新し、内容も執筆者間の連携を重視して、一貫性と統一性を心がけた。本書は理論編、実践編、資料編の4部構成になっている。理論編では、次期学習指導要領上の論点をはじめ、基本となる教授理論を公的な文書、文献、研究報告書などを根拠に解説している。実践編では、技能5領域と文法・語彙、文化、技能統合型の指導について具体的に記述し、実践編では、授業計画、授業実践、評価などについて事例を出しながら解説している。資料編には、J-POSTLの自己評価記述文の全文、英語で授業を行う際の基本的な用例集、学習指導要領（学習語、技能）を掲載した。J-POSTLの自己評価記述文については、全章を通じ内容に即して、該当する記述文を側注に掲載しており、さらに各章の「課題」でも扱っている。自己評価記述文を使って、仲間との学びや自己の学習・実践の振り返りに役立てることが期待される。	第1部　理論編 第1章　外国語教育の目的と意義, 第2章　英語教育課程, 第3章　第二言語習得と教授法, 第4章　学習者論, 第5章　英語教師論 第2部実践編 第6章　リスニング, 第7章　リーディング, 第8章　スピーキング,　第9章 ライティング, 第10章　技能統合型の指導：インタラクション, 第11章　文法指導, 第12章　語彙指導, 第13章　異文化指導 第3部　実践編II 第14章　授業計画に必要な知識, 第15章　授業計画：授業案の作成, 第16章　授業実践 第17章　評価 資料編	－	久村　研	田園調布学園大学	dzj01411[a]nifty.com
22	EAP調査研究特別委員会	2017	2	14	日本の大学における学術英語カリキュラムの現状と課題―実態調査結果を踏まえて―	京都大学高等教育研究開発推進センター	紀要	紙媒体, ウェブ	社会科学	Curriculum	http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/kiyou/kiyou_22.php	国内4大学と英国・香港の3大学で実施されているEAPカリキュラムの実態調査をもとに、国内大学でのEAP教育における課題を報告。	－	－	飯島　優雅	獨協大学	yijima[a]dokkyo.ac.jp
23	EAP調査研究特別委員会	2017	1	17	Exploring the EAP Curriculum in EFL and ESL Contexts	The 14th Asia TEFL International Conference and 11th FEELTA International Conference	Conference Proceedings	電子媒体	社会科学	Curriculum, ESP	https://www.eiken.or.jp/center_for_research/movies/index.html	実態調査を元に、EFL環境の日本のEAPカリキュラムと、ESL環境の香港のEAPカリキュラムの比較を行い、共通点と相違点を報告。	－	－	飯島　優雅	獨協大学	yijima[a]dokkyo.ac.jp
24	EAP調査研究特別委員会	2016	12	1	大学英語教育の質保証に向けたEAPカリキュラム実態把握調査	公益財団法人 日本英語検定協会 英語教育研究センター	その他	ウェブ	社会科学	Curriculum, ESP	https://www.eiken.or.jp/center_for_research/movies/index.html	2014-2015年度に行われた、国内外の大学で実践されているEAPカリキュラム実態調査研究の計画概略と、インタビュー調査、アンケート調査の結果と考察を報告。	－	－	寺内　一	高千穂大学	hajime[a]takachiho.ac.jp
25	ELF (English as a Lingua Franca) 研究会	2016	9	6	JACET ELF SIG Journal (SIG Journal)、JACET SIG on English as a Lingua Franca (SIG website)	－	SIG Journal、SIG website	電子媒体 ウェブ	社会科学 人文	－	https://jacetelf.wordpress.com/	－	－	SIG Journal の出版日は 2017年3月31日（上記、出版日欄の日付は、SIG websiteの開設日）。	村田　久美子	早稲田大学	jacetelfsig[a]gmail.com
26	国際理解（グローバル）教育研究会	2016	3	31	2015年度国際理解（グローバル）教育研究会活動の概要の記述	－	その他	ウェブ	人文	Curriculum,Teacher Education	－	国際理解（グローバル）教育研究会では研究会を5回開催した。本年も英語教育において平和を学ぶ教材づくりと参加型学習の手法の検討にとりくんだ。 研究会では、代表らが翻訳した『平和をつくった世界の20人』（岩波ジュニア新書）[http://greatpeacemakers.jimdo.com]をもとに、その意義と教材としてどう扱うかを検討している。また、ブリッジ・フォー・ピースというNGOが元日本兵に取材をして制作した映像記録（英語字幕）をもちいたワークショップも検討している。 今後とも社会的関心を喚起するテーマや教材の検討をすすめる。また、それらに触発されて、発信・交流を深める手だてを追究したい。 代表・淺川 和也 (kasan@mac.com)	－	淺川　和也	東海学園大学	kasan[a]mac.com
27	国際理解（グローバル）教育研究会	2016	3	31	2015年度国際理解（グローバル）教育研究会活動の概要の記述	－	その他	ウェブ	人文	Curriculum, Teacher Education	－	国際理解（グローバル）教育研究会では研究会を5回開催した。本年も英語教育において平和を学ぶ教材づくりと参加型学習の手法の検討にとりくんだ。 研究会では、代表らが翻訳した『平和をつくった世界の20人』（岩波ジュニア新書）[http://greatpeacemakers.jimdo.com]をもとに、その意義と教材としてどう扱うかを検討している。また、ブリッジ・フォー・ピースというNGOが元日本兵に取材をして制作した映像記録（英語字幕）をもちいたワークショップも検討している。 今後とも社会的関心を喚起するテーマや教材の検討をすすめる。また、それらに触発されて、発信・交流を深める手だてを追究したい。 代表・淺川 和也 (kasan@mac.com)	－	淺川　和也	東海学園大学	kasan[a]mac.com

28	オーラル・コミュニケーション研究会	2016	2	10	The 20th JACET Oral Communication Festival	－	動画	電子媒体	人文	全般, Speaking, Teacher Education, Drama	－	Oral Communication研究会に所属する教員が指導した学生による、ドラマや朗読劇、スピーチなどの発表会を収録したもの。2015年度は第20回となり、南山大学にて開催された。	青山学院大：Narrative Theatre: "I was threre" 文教大：Drama: "Momotaro---a Mystery?" 南山大：Readers Theatre: "Cat in the RAin" by Ernest Hemingway 常葉大：Creative Drama: "Nonfin¥ction: Job Hunting 35 Years Ago" 名古屋外大：Drama: "A Midsummer Night's Dream by William Shakiespeare adapted by Shaking the Spears 2015" 東京工芸大：Speech: "Kogei Art Exhibition 2015" 同志社女子大：Dramatic Reenactment: "Tokyo Bid for the 2020 Olympics in Buenos Aires" Creative Drama: "Culture Shock!--- The First Day in Sociology 102" 神戸市外大：English Show: "The strategy of Persuasion" English Drama: "The Gift of the Magi"	指導過程や台本（一部）を収録した報告書あり。OCFのDVDや報告書閲覧ご希望の方は研究会代表までお問い合わせください。	塩沢泰子	文教大学	yasuko[a]shonan.bunkyo.ac.jp
29	オーラル・コミュニケーション研究会	2016	2	10	The 20th JACET Oral Communication Festival	－	OCFestivalにおける学生パフォーマンス動画	電子媒体	人文	全般, Speaking, Teacher Education, Drama	－	Oral Communication研究会に所属する教員が指導した学生による、ドラマや朗読劇、スピーチなどの発表会を収録したもの。2015年度は第20回となり、南山大学にて開催された。	青山学院大：Narrative Theatre: "I was threre" 文教大：Drama: "Momotaro---a Mystery?" 南山大：Readers Theatre: "Cat in the RAin" by Ernest Hemingway 常葉大：Creative Drama: "Nonfin¥ction: Job Hunting 35 Years Ago" 名古屋外大：Drama: "A Midsummer Night's Dream by William Shakiespeare adapted by Shaking the Spears 2015" 東京工芸大：Speech: "Kogei Art Exhibition 2015" 同志社女子大：Dramatic Reenactment: "Tokyo Bid for the 2020 Olympics in Buenos Aires" Creative Drama: "Culture Shock!--- The First Day in Sociology 102" 神戸市外大：English Show: "The strategy of Persuasion" English Drama: "The Gift of the Magi"	指導過程や台本（一部）を収録した報告書あり。OCFのDVDや報告書閲覧ご希望の方は研究会代表までお問い合わせください。	塩沢泰子	文教大学	yasuko[a]shonan.bunkyo.ac.jp
30	ESP 関東	2015	12	31	Annual Report of JACET SIG on ESP Vol.17	三美印刷株式会社	記要	紙媒体, 電子媒体	全般	ESP	http://jacet-esp-kanto.org/	ESPに関する論文1本、実践報告5本、ESP関東2015年度活動報告、他ESP団体活動報告1本が掲載されている。	Research Papers Negotiating the Challenges of Using English in Business Communication: Listening Narratives of Japanese BELF Users Miyuki Takino 4 Classroom Practices Preparing Vocabulary for University Students Discussion on Japanese Culture Graham Robson 11 A Report on Usage of Imagery in Science English Courses Aiming for Improving L2 Proficiency Naoko Nakamura 17 Experiential Learning: Promoting Inbound Tourism through Guiding Lessons Reiko Fujita 21 Building a Domain-Specific Corpus of Agriculture and Applying it in the Classroom Aika Miura 25 The Design and Trial of a Web-based Learning Management System under ESP Contexts Tomonori Ono & Paul Raine 30 Presentation Reviews ESP Kanto Chapter 2015 Activity Report Reiko Fujita 33 Activity Report of the Research Station for Innovative and Global Tertiary English Education (IGTEE) of the University of Electro-Communications (UEC Tokyo) Jie Shi, Shinichi Hashimoto Uma Maheswari Rajagopalan, &Yan Yu	－	藤田玲子	東海大学	reiko-f[a]tokai-u.jp
31	ESP 関東	2015	12	31	Annual Report of JACET SIG on ESP Vol.17	三美印刷株式会社	記要	紙媒体, 電子媒体	全般	ESP	http://jacet-esp-kanto.org/	ESPに関する論文1本、実践報告5本、ESP関東2015年度活動報告、他ESP団体活動報告1本が掲載されている。	Research Papers Negotiating the Challenges of Using English in Business Communication: Listening Narratives of Japanese BELF Users Miyuki Takino 4 Classroom Practices Preparing Vocabulary for University Students Discussion on Japanese Culture Graham Robson 11 A Report on Usage of Imagery in Science English Courses Aiming for Improving L2 Proficiency Naoko Nakamura 17 Experiential Learning: Promoting Inbound Tourism through Guiding Lessons Reiko Fujita 21 Building a Domain-Specific Corpus of Agriculture and Applying it in the Classroom Aika Miura 25 The Design and Trial of a Web-based Learning Management System under ESP Contexts Tomonori Ono & Paul Raine 30 Presentation Reviews ESP Kanto Chapter 2015 Activity Report Reiko Fujita 33 Activity Report of the Research Station for Innovative and Global Tertiary English Education (IGTEE) of the University of Electro-Communications (UEC Tokyo) Jie Shi, Shinichi Hashimoto Uma Maheswari Rajagopalan, &Yan Yu	－	藤田玲子	東海大学	reiko-f[a]tokai-u.jp
32	ライティング指導研究会	2015	3	31	JACET関西支部ライティング指導研究会紀要11号	－	記要	紙媒体	人文	Writing	－	－	－	－	山西博之	関西大学	hiyamani[a]kansai-u.ac.jp
33	JACETライティング研究会	2015	3	31	日本人のための英語ライティングセンター構築の可能性とその実現計画	－	報告書	紙媒体	人文	Writing	－	本書は、平成24-26年度科学研究費補助金基盤研究（C）（研究代表者　木村友保：研究課題番号24520717）「日本人のための英語ライティングセンター構築の可能性とその実現計画」の研究報告書である。本研究の目的は、研究テーマが示す通り、日本人のための英語ライティングセンター構築の可能性とその実現計画をたてることである。この目的を遂行するために、JACETのライティング研究グループの全面的な協力を得て、日本の大学に存在するライティングセンターの調査、北米のライティングセンターの調査、分析、研究発表を行い、その研究を通じてライティングセンターの可能性を検討した結果をまとめたものである。	まえがき 研究組織 日本のライティングセンター調査-日本人のための英語ライティングセンター構築の可能性- 【訪問記録】 大阪女学院大学 東京大学駒場キャンパス 上智大学 津田塾大学 政策研究大学院大学 インディアナポリス大学 国際教養大学 早稲田大学 【資料】 質問事項 面接承諾書 Informed Consent The Present Situation of Writing Centers in Japan Omura Hama and English Lessons ライティングセンターの指導方法についての提案-学校現場から得た「書くこと」の手がかり- ライティングセンターの指導方法についての提案―協同学習とチューター― 日本人のための英語ライティングセンター構築への提案 日本の英語ライティングセンターが目指すリテラシー教育 International Writing Center Association 2014 Conference Report on Marlene Scardamalia's Lecture 東京大学教養部グローバルコミュニケーションセンター訪問 あとがき	－	木村友保	名古屋外国語大学	kimurat[a]nufs.ac.jp
34	Oral Presentation and Performance (OPP)	2015	3	25	The 6th Oral Presentation & Performance (OPP2014) Event Report	－	報告書	紙媒体	人文, 一般	Speaking	－	Oral Presentation & Performance (OPP) 研究会は大学生の口頭での発表技能やプレゼンテーション技能を高めること、研究会メンバー同志で指導方法等を他のメンバーと共有しあうことで教員間の連携を高めることを目的に活動しています。研究会の中心的な研究活動は、年に一度開催するOPPイベントで、2014年度は第6回OPPイベントを12月14日に安田女子大学まほろば館で開催しました。参加者総数は、学生プレゼンター65名、指導教員総数10名（6大学）でした。上記報告書ではこの活動報告と併せ、参加したOPP研究会メンバー全員が、指導の方法、内容、工夫した点などをまとめて報告しています。（全106ページ。）	－	報告書をご希望の方には、謹呈いたしますので、代表者までご連絡ください。紙媒体の報告書がなくなった場合は、PDFファイルでお送りします。	岩井　千秋	広島市立大学	iwai[a]intl.hiroshima-cu.ac.jp
35	オーラル・コミュニケーション研究会	2015	3	20	the 19th Oral Communication Festival	－	報告書とDVD	紙媒体, 電子媒体	全般, 社会科学, 人文, education, performance studies	全般, Learner Development, Listening, SLA, Speaking, Oral communication, Performance	－	2014年12月13日に開催された、本研究会主催の英語パフォーマンス発表会である。第19回オーラル・コミュニケーション・フェスティバル(OCF)の様子を録画したDVDと指導過程や発表台本などをまとめた報告書。 OCFは研究会メンバーが指導する学生ならびに教員のパフォーマンス大会で、本大会には文教大学、青山学院大学、常葉大学、神戸市外国語大学、南山大学、日本大学、東京工芸大学が参加し、創作劇やスピーチ、朗読など様々な発表が行われ、相互評価しあった。	13:00- 13:15 Opening Choral Reading: "12 Days of Christmas" Adapted and Directed by Keizo Asano 13:15- 13:50 Aoyama Gakuin University (1) Faculty: Michiyo Okawa Musical: "Frozen: Anna and Snow Queen" 13:50- 14:00 Nanzan Junior College, Nanzan University Faculty: Keizo Asano Readers Theatre: "No Greater Love," Adapted from a story by Jack Canfield and Mark Victor Hansen 14:00- 14:20 Tokoha University Faculty: Tomoko Haraguchi Creative Drama: "CNN Interview: Special Edition" 14:20- 14:40 Tokyo Polytechnic University Faculty: Jitsuko Kitsuno Presentations: "Kougei Art Exhibition" 14:50- 15:30 Bunkyo University Faculty: Yasuko Shiozawa Creative Drama: "Real Snow White" 15:30- 15:45 Nihon University Faculty: Takashi Kanazashi English Songs: "Hey Jude" "Jingle Bells" 15:45- 16:15 Kobe City University of Foreign Studies Faculty: Kazuhiro Nomura Creative Drama: "MOMOTARO～Fight for What?～" English Rakugo: "English Rakugo!" 16:25- 17:00 Aoyama Gakuin University (2) Faculty: Michiyo Okawa Narrative Theatre: "Hug" 17:00- 17:05 Faculty Performance by Kazuhiro Nomura Digital Storytelling: "Twas the Night Before Christmas" by Clement C. Moore	Oral Communication Festival(OCF)ならびに報告書、DVDに興味のある方は本研究会代表の塩沢もしくは副代表の野村にお問い合わせいただきたい。 野村和宏（神戸市外大）　kaz_nomura@inst.kobe-cufs.ac.jp なお、OCFは1996年度より毎年12月に開催している（本年度の開催日、場所は未定、決定次第公表）ので、興味のある方には是非見学にお出でいただきたい。 なお、これまでの本研究会の研究・実践は下記の書籍にまとめられている。 「オーラル・コミュニケーションの理論と実践」2002年三修社（2003年度JACET実践賞受賞） 「オーラル・コミュニケーションの新しい地平」2013年文教大学出版事務局	塩沢泰子	文教大学国際学部	yasuko[a]shonan.bunkyo.ac.jp

36	教育問題研究会	2015	3	15	Language Teacher Education Vol.2 No.1	–	記要	紙媒体, 電子媒体, ウェブ	人文	Teacher Education	http://www.waseda.jp/assoc-jacetenedu/JournalList.htm	・発刊の目的:本研究会が開発した「言語教師のポートフォリオ」(J-POSTL)の普及と，言語教師教育およびその関連分野の研究に貢献することを目的とする。 ・ジャーナルの発行:毎年年2回発行する。No.1は日本語版(3月発行)，No.2は英語版(8月発行)とする。 ・投稿条件:原稿投稿者は本研究会会員とJACET会員を原則とするが，それ以外でもJ-POSTLの使用者，および，言語教師教育の研究者・実践者の投稿を認める。 ・投稿方法:原則として，まずNo.1(日本語版)に投稿し，査読を受けて採用された場合，英訳してNo.2 (English edition)にも投稿していただきます。 ・応募申込み:毎年11月末までに，氏名，所属，連絡先(メールアドレス)，原稿の概要をEメールにて下記メール・アドレスにお送りください。 ・原稿締切:No.1(日本語版)(3月発行予定)毎年1月10日必着／No.2 (English edition)(7月発行予定):同年の5月31日必着。いずれも下記アドレスへメール添付で送付。 山口高領 YAMAGUCHI Takane 〈takane@aoni.waseda.jp〉	特別記録 ・生涯を通してのことばの学習(2015年1月31日最終講義抄録)(神保尚武) ・CEFR/CEFR-Jの言語共通参照レベル(A1-C2)を導入する言語教育の課題(2014年9月14日夏期公開研修会基調講演抄録)(ジャン＝クロード・ベアコ，堀 晋也訳) J-POSTL関連 【論文】英語科教科法の授業におけるJ-POSTLの統合的な活用法—授業力への内省を深めるために—(清田 洋一) 【論文】中学校英語検定教科書に見られる異文化間コミュニケーション能力「言語と文化の視元的アプローチのための参照枠」を用いた分析を通して-(中山夏恵，葉原文子) 【研究ノート】英語科教職課程履修生による省察—言語教師のポートフォリオ(J-POSTL)を用いて—(?木亜希子) 【実践報告】小学校教師志望学生にもたらす小学校英語教育実習の効果に関する調査研究—「言語教師のポートフォリオ」使用の試みから—(米田 佐紀子) 外国語教育関連 【論文】第2外国語学習における基本的心理欲求の充足と英語学習に対する自己効力感(堀晋也・山口高領) 【論文】第2外国語を学ぶ大学生の自律学習能力と英語学習に対する自己効力感(山口高領・堀晋也) 書評 ・「グローバル人材再考—言語と教育から日本の国際化を考える」西山教行・平畑奈美編著 くろしお出版(砂岡和子) 資料 ・筑波大学附属高等学校スーパーグローバルハイスクールについて(浅見道明) 記録 ・2014年度教育問題研究会会員の学会等発表記録 ／言語教育エキスポ2015プログラム Language・Teacher Education言語教師教育 原稿投稿要領	–	久村 研	田園調布学園大学	dzj01414[a]nifty.com
37	CCR 研究会	2015	3	10	Combining MOLT perspectives to COLT schemes in assessing instructional events	Research Bulletin of English Teaching	記要	紙媒体	人文	Classroom Observation	–	In this study, to clarify how instruction can enhance motivation in English language learners, we analyzed three teachers' classes at a university and examined their characteristics using the Motivation Orientation of Language teaching (MOLT) (Guilloteaux & Dornyei, 2008) and the Communicative Orientation of Language Teaching (COLT) (Frohlich, Spada & Allen, 1985). The results of this study indicated that the MOLT scheme was valid for a university setting. Furthermore, it was found that the MOLT scheme was capable of detecting differences between the instructors; therefore, this observation scheme could be used as a self-awareness raising tool for teachers in their use of motivational strategies. Lastly, it was found that when COLT evaluations were low, the teacher conduct MOLT evaluations were also low.	–	–	志村 昭輔	北海道教育大学札幌校	RXA03643[a]nifty.com
38	JACET SIG on Academic & Teaching Portfolio	2015	3	6	Website	–	ホームページ	ウェブ	一般	Teacher & Faculty Development	http://web.eec.ehime-u.ac.jp/~nakayama/jacet-sig-aptp/index.html	–	–	–	中山晃	愛媛大学	nakayama[a]ehime-u.ac.jp
39	リスニング研究会	2015	2	12	Power-UP English <Pre-Intermediate>	南雲堂	書籍	紙媒体	人文	全般	http://www.nanun-do.co.jp/	Power-Up English シリーズの第5作目にあたり，英語の聴解力，読解力，文法力を効果的に向上させることを意図した総合英語教材。レベルは【基礎編】と【中級編】の間に設定。多岐にわたる話題で学習者の関心を引くような内容を盛り込んだ。また，英語のリズムを意識した音読練習，Appendixが英語らしい音声をもとめて」などによって，学習者が音声英語やリスニングに対する関心や認識を高めることを目指した。語彙・文法の復習テスト付きの教授用資料完備。	Unit1 : College Life (I) Unit2: College Life (II) Unit3: Hobbies Unit4: Romance Unit5: Transportation Unit6: Business Unit7: Society Unit8: Health Unit9: The Environment Unit10:Medicine Unit11:Finance Unit12:Shopping Unit13:Career Unit14:Art Unit15:Culture Unit16:Population Unit17:Disasters Unit18:Travel Unit19:Sports Unit20:Life Unit21:Entertainment Unit22:Language Unit23:Science Unit24:Technology	–	原田 洋子	06-6853-85556	brisk4050[a]ta2.so-net.ne.jp
40	ESP関東	2014	12	31	Annual Report of JACET-SIG on ESP Vol.16	–	記要	紙媒体, 電子媒体	全般	ESP	http://jacet-esp-kanto.org/annual-journal/	ESPに関する論文や研究ノートを全国の会員から集め掲載。毎年出版しており、査読も行っている。本年度は第16号となった。	Foreword 1: Charlie Robertson, Reiko Fujita Original Paper: Using Tuesdays with Morrie for In-training Healthcare Professionals : A Pilot Study Emiko Ubukawa, Yoko Miyazaki L1-L2 Technical Term Translation and Corpus Application for Lexical Choice Tasks Aika Miura Teaching English for the MICE Industry in JapanKyoko Morikoshi, Tomohiko Oda, Yukie Ueno Japanese engineering and the English language ? an evolving relationship Michael Sharpe 学習者の知能特性を生かすアプローチ 恒安真佐	–	藤田玲子	東海大学	reiko-f[a]tokai-u.jp
41	言語教師認知研究会	2014	10	1	JACET 言語教師認知研究会 研究集録 2013	–	記要	ウェブ	人文	Curriculum, SLA, Sociolinguistics, Teacher Education, Teacher Cognition	http://www3.plala.or.jp/sasageru/JACETLTCBulletin2014.pdf	2013-2014年に発表された研究発表をもとにした言語教師認知に関する研究集録。査読あり。	目次 はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ i 言語教師認知研究会記録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・iv Implementing Research Orientation and Integrating Curriculum in Teacher Education?A Case Example of Foreign Language Teacher Education in a Finnish University Riitta JAATINEN・・・・・1 Emerging Self-Identities: Foreign Language Learning, Experiential Capital and Emotions- A Narrative Oriented Study Masuko MIYAHARA・・・・20 Practical Activities Based on Students' Personality Mass TSUNEYASU ・・・・ 43 A Brief Introduction to Cooperative Learning for English Teachers 英語科教員養成における省察の意味とは何か Kumiko FUSHINO ・・・・ 50 ?木亜希子・・・・・・・ 60 授業研究における教師の学習過程:授業後協議会に着目して 坂本篤史・・・・・・・・・75	言語教師認知研究会ウェブ http://jacetsigonltc.blogspot.jp	笹島茂	東洋英和女学院大学	sasajima.n[a]toyoeiwa.ac.jp
42	教育問題研究会	2014	8	5	Language Teacher Education 言語教師教育 Vol.1 No.2	–	記要	紙媒体, 電子媒体, ウェブ	人文	Teacher Education	http://www.waseda.jp/assoc-jacetenedu/JournalList.htm	・発刊の目的:本研究会が開発した「言語教師のポートフォリオ」(J-POSTL)の普及と，言語教師教育およびその関連分野の研究に貢献することを目的とする。 ・ジャーナルの発行:毎年年2回発行する。No.1は日本語版(3月発行)，No.2は英語版(8月発行)とする。 ・投稿条件:原稿投稿者は本研究会会員とJACET会員を原則とするが，それ以外でもJ-POSTLの使用者，および，言語教師教育の研究者・実践者の投稿を認める。 ・投稿方法:原則として，まずNo.1(日本語版)に投稿し，査読を受けて採用された場合，英訳してNo.2 (English edition)にも投稿していただきます。 ・応募申込み:毎年11月末までに，氏名，所属，連絡先(メールアドレス)，原稿の概要をEメールにて下記メール・アドレスにお送りください。 ・原稿締切:No.1(日本語版)(3月発行予定)毎年1月10日必着／No.2 (English edition)(7月発行予定):同年の5月31日必着。いずれも下記アドレスへメール添付で送付。 山口高領 YAMAGUCHI Takane 〈takane@aoni.waseda.jp〉	・Foreword (Hisatake Jimbo, Ken Hisamura) [J-POSTL-Related Articles] ・J-POSTL: Specification of Descriptors and Strategies for Implementation Appendx. J-POSTL?Self-assessment Descriptors (Ken Hisamura) ・Overseas Experience and Confidence in Teaching Culture among English Language Teachers in Japan (Ken Hisamura) ・Visit to Austria: International Conferences at ECML in Graz and School Visits in Vienna (Hisatake Jimbo,Ken Hisamura,Shien Sakai,Masachika Ishida,Yoichi Kiyota,Akiko Takagi,Hiromi Imamura,Yukie Endo) [Contributed Articles] ・A Study of Japanese Elementary School Teachers' Perceptions of Foreign Language Activities (Rie Adachi,Shien Sakai,Kazumi Aizawa) ・Can-do descriptors which improve English ability to cope with college entrance examinations (Shien Sakai) [Attachment] ・Filming Record of a Foreign Language Activity at an Elementary School (Junji Yoshiura)	–	久村 研	田園調布学園大学	dzj01413[a]nifty.com
43	教育問題研究会	2014	7	20	Language Teacher Education 言語教師教育 Vol.1 No.1	–	記要	紙媒体, 電子媒体, ウェブ	人文	Teacher Education	http://www.waseda.jp/assoc-jacetenedu/JournalList.htm	・発刊の目的:本研究会が開発した「言語教師のポートフォリオ」(J-POSTL)の普及と，言語教師教育およびその関連分野の研究に貢献することを目的とする。 ・ジャーナルの発行:毎年年2回発行する。No.1は日本語版(3月発行)，No.2は英語版(8月発行)とする。 ・投稿条件:原稿投稿者は本研究会会員とJACET会員を原則とするが，それ以外でもJ-POSTLの使用者，および，言語教師教育の研究者・実践者の投稿を認める。 ・投稿方法:原則として，まずNo.1(日本語版)に投稿し，査読を受けて採用された場合，英訳してNo.2 (English edition)にも投稿していただきます。 ・応募申込み:毎年11月末までに，氏名，所属，連絡先(メールアドレス)，原稿の概要をEメールにて下記メール・アドレスにお送りください。 ・原稿締切:No.1(日本語版)(3月発行予定)毎年1月10日必着／No.2 (English edition)(7月発行予定):同年の5月31日必着。いずれも下記アドレスへメール添付で送付。 山口高領 YAMAGUCHI Takane 〈takane@aoni.waseda.jp〉	・巻頭言(神保尚武，久村 研) [J-POSTL関連] ・言語教師のポートフォリオ:完成から普及へ(久村 研) ・構造J-POSTL自己評価記述文 ・英語教師の海外経験と異文化間教育への自信-全国調査分析結果からの示唆-(久村 研) [英語教育関連] ・小学校外国語活動指導者意識調査結果(安達理恵，酒井志延，相澤一美) ・大学入試に対応する英語力とCan-doリスト(酒井志延) [書評] ・"The CEFR in an East Asian Context" Chris Merkelback (Ed.) (2014), National Taiwan University Press. NTD 450 256 pp.(拝田 清) [資料] ・外国語活動授業撮影および編集の記録(吉浦潤次)	–	久村 研	田園調布学園大学	dzj01412[a]nifty.com
44	大学英語教育学会 (JACET) Critical Thinking 研究会	2014	6	30	クリティカル・シンキングと大学英語教育?	–	報告書	電子媒体	社会科学, 人文	Critical Thinking	–	研究会有志による科学研究費基盤研究B(2010-2013年度)の研究結果を記載している。	–	–	大野秀樹	大東文化大学	jacetct[a]yahoo.co.jp

45	教育問題研究会	2014	3	9	言語教師のポートフォリオ	－	ポートフォリオ	紙媒体, 電子媒体, ウェブ	人文	Teacher Education	http://www.waseda.jp/assoc-jacetenedu/JPOSTL.htm	本書は、原作の「ヨーロッパ言語教育履修生ポートフォリオ」(the European Portfolio for Student Teachers of Languages)(Newby et al. 2007)を単に訳出したものではなく、日本の言語教育環境でも受容できるように翻案化したもので、ヨーロッパ評議会(Council of Europe)からcopyrightを取得しています。EPOSTLから踏襲する理念として、「行動志向の言語観(Action-oriented view of language)」「生涯学習(Life-long learning)」などがあります。行動志向の言語観では、言語教育は、場面・概念・機能シラバスによる、人間士の交流(インタラクション)を中心としたコミュニカティブな指導法(CLT)が理想的な教授法と考えられています。一方、英語学習の長期的目標や、内的動機付けとなりうる観点が生涯学習、言い換えると「学び方を身につけること(learning to learn)」です。本書は、主に次の5点の目的を持つポートフォリオです。 ・英語教師に求められる授業力を明示する ・授業力とそれを支える基礎知識・技術の振り返りを促す ・同僚や指導者との話し合いを促進する ・自分の授業の自己評価力を高める ・成長を記録する手段を提供する	・英語教師のポートフォリオ(全編)について ・ヨーロッパ言語教育履修生ポートフォリオ(EPOSTL)の序論本書の使い方 ・自分自身について ・自己評価記述文 ？ 教育環境 ？ 教授法？ 教授資料の入手先 ？ 授業計画？ 授業実践？ 自律学習 ？ 評価 ・学習・実践記録 ・用語解説 ・利用者ガイド	－	久村　研	田園調布学園大学	dzj01411(a)nifty.com